



2010/02/01

## 鳥との出会い／ヨタカ

野鳥の会に入会したての頃は、スズメやツバメ以外は何が何だか分からず、大先輩達のおっしゃる鳥名と鳥の姿を覚える事に必死でした。鳥の種類が識別できるようになりたいと探鳥会には必ず参加し、見た鳥を図鑑で調べてチェックする日々で、今まで知らなかった鳥達がとても身近になってきました。5年を過ぎる頃から珍しい鳥やまだ見たことのない野鳥が気になりだし、戸隠高原や白山一里野、斐伊川、奄美大島、石垣・西表島、北海道・道東などの宿泊探鳥会に積極的に参加、声が掛れば氷ノ山や八束町、笠岡干拓地、日の岬、五主海岸、吉野川などへ車で一緒に連れて行って頂き、見た鳥の種類を増やしていきました。そのうちに宮沢賢二の小説「ヨダカの星」出てくる可哀そうなヨタカに魅かれ、どうしてもヨタカを見たいという思いが湧いてきて、岡山森林公園や三川山などへ遠征しましたがキョ キョ キョという鳴き声や飛んだ時のシルエット姿しか見られませんでした。しかし昨年鳥見を初めて20年目やっと念願が叶いヨタカを見ることができました。アカマツの横枝にとまって寝ている所を偶然に発見、しばらく望遠鏡で複雑な羽根の模様や口の回りの長いヒゲを観察しているとヨタカが目覚め、あくびをしたりすこし位置を変えたりしました。口は大きく裂けてや口の中のピンク色もハッキリと観察することができ大感激でした。

「ヨダカの星」では最後には星となってカシオペア座のすぐ近くで輝いているそうです。帰り道、星が出ている時はいつもその近くのヨダカの星を探しています。

またいつか会えます様に！



鳥と出会った人 山本 ひめ